

## 掲載組合員 一覧

組合員名	所在地	掲載ページ
津軽塗専門店 恵比須屋	青森市本町1-1-41 TEL 017(776)2116	p.04
ねぶた976(ヤマモト食品株式会社)	青森市長島1-6-3 TEL 017(776)4121	p.04
津軽塗 小林漆器	弘前市東城北3-3-12 TEL 0172(34)5681	p.05
有限会社イシオカ工芸	弘前市堅田2-7-5 TEL 0172(34)6222	p.05
有限会社メガネフラワー	弘前市土手町181-2 TEL 0172(36)6189	p.06
有限会社大鰐振興	南津軽郡大鰐町蔵館湯ノ沢4-3 TEL 0172(47)9040	p.8
肉の博明	三戸郡田子町大字田子字天神堂向41-5 TEL 0179(32)3307	p.9
有限会社プレス	弘前市土手町100-1もりやビル2F TEL 0172(39)2040	p.10
平山萬年堂	弘前市大字土手町105 TEL 0172(32)0880	p.10
有限会社レストラン御幸	黒石市中町36 TEL 0172(52)2558	p.11
カネショウ株式会社	平川市日沼富田30-12 尾上工場 TEL 0172(57)2121	p.14、21
津軽味噌醤油株式会社	南津軽郡大鰐町湯野川原56 TEL 0120(070)141	p.14、21
弘前東栄ホテル	弘前市土手町166 TEL 0172(33)8111	p.15
八戸協和水産株式会社	八戸市大字市川町字下揚45-13 TEL 0178(52)6181	p.16
株式会社ヤマヨ	八戸市江陽4-10-24 TEL 0178(24)3211	p.16
株式会社味の加久の屋	八戸市鮫町福沢久保3 TEL 0178(34)2444	p.17
大黒寿司	青森市新町1-2-6 TEL 017(722)6480	p.18
有限会社かくた武田	青森市千刈1-21-5 TEL 017(781)8088	p.20
一般財団法人新郷村ふるさと活性化公社	三戸郡新郷村大字戸来字雨池11-2 TEL 0178(78)2511	p.20
オトキタ酒販株式会社	八戸市沼館1-13-5 TEL 0178(46)0711	p.24
岩沢酒店	八戸市是川5-4-3 TEL 0178(96)5554	p.24
黒石銘菓のお店 シャロン甘洋堂	黒石市前町17-9 TEL 0172(52)4688	p.25
ファーマーズマルシェhitotsubu	おいらせ町鶴久保53-3 TEL 0176(51)7056	p.27
十和田バラ焼きゼミナール	十和田市西二番町7-4 TEL 0176(25)7758	p.28
河野商店	むつ市桜木町5-61 TEL 0175-34-9330	p.29
大鰐温泉もやし生産組合	南津軽郡大鰐町大字大鰐字川辺11-11 TEL 0172(49)1126	p.30
有限会社カネ久 越後屋商店	平川市日沼富田30-8 TEL 0172(57)5600	p.31、32
高砂食品株式会社	平川市日沼富田36 TEL 0172(57)5225	p.31、32
有限会社柏崎青果	上北郡おいらせ町木崎158 TEL 0178(56)5030	p.34
株式会社TAKKO商事	三戸郡田子町大字田子字田子4-10 TEL 0120(32)4635	p.34
株式会社お菓子のみやきん	上北郡七戸町字笹田76-1 TEL 0176(62)5100	p.35
田重菓子舗	上北郡七戸町七戸210-4 TEL 0176(62)2537	p.35
松風堂	三戸郡三戸町大字二日町103-2 TEL 0179(23)3554	p.36
松宗菓子店	三戸郡三戸町大字二日町50 TEL 0179(22)2719	p.36
有限会社松栄堂	青森市栄町1-5-4 TEL 017(743)1863	p.38
株式会社甘精堂本店	青森市新町1-13-21 TEL 017(722)3740	p.39
株式会社おきな屋	青森市南佃1-18-15 TEL 017(742)1430	p.39

## 地域特産品の地域ブランド化を推進する先進事例の調査報告のご紹介

当会職員が本県版ブランド推進事業の構築のため全国の先進的なブランド推進事業や首都圏等で実施される特産品展示会等の実地調査を行い、そのポイントを取りまとめましたのでご参考にしてください。  
※詳細については当会の新連携推進室までお問い合わせください。

No.	調査日	調査概要	調査地	調査報告(ポイント)
1	2017. 8/29~31	外食ビジネスウィーク 2017	東京都	500社を超える出展企業と約50,000名の飲食店経営者・バイヤーが集結する日本最大級の専門展示会。地域を代表的する農産、海産物を加工した食品をアピールするブースは集客が高く、特に新たな食仕方の提案が好評を得ていた。歴史と実績が豊富な原材料のポテンシャルを十分に活かすことが決め手となる。また、全国規模の展示会では、同じ食材が競合するため地域独自の価値がどのように込められている商品かを明確にアピールすることが肝要。JAS制度の活用も差別化を図る有効な手段となる。
		組合まつりin TOKYO		中小企業世界発信プロジェクトの一環として、東京はもとより全国の中小企業組合を集め、組合の知名度アップと組合製品の展示や販売を通じた販路拡大の場。全国一体となったイベントで、東京2020大会等を契機とする新たなビジネスチャンス創出の場も目的としており、88団体が出展。様々な業界の仕事の内容や中小企業組合の存在を広くアピールする機会となっている。
2	2017. 10/4~7	Food EXPO Kyushu 2017	福岡市	毎年10月、福岡県、福岡市、ジェトロ福岡、福岡県商工会連合会、福岡商工会議所の共催により開催しており、今年で4回目。本イベントは、「国内外食品商談会(B to B)」と、一般消費者向けの展示即売会「九州うまいもの大食堂(B to C)」の2本立てで開催している。福岡のみならず、九州、沖縄の食品関連事業者が出展でき、商談会は国内外のバイヤー約147社(海外6:国内4)、出展者は178社が参加、地方では国内最大規模のマッチングイベントとなっている。展示会の魅力は、各支援組織の持つ強みと蓄積されたノウハウを融合させているところにある。加えて、徹底したPDCAサイクルが裏付けとなり、バイヤーと出展者のミスマッチの最小化を実現している。
		福岡市スタートアップカフェ		平成26年5月、創業特区の認定を受けたことにより、「福岡市スタートアップカフェ」が設立された。施設内には、コワーキングスペース、イベントスペース、インキュベーションオフィス等があり、「コンシェルジュ」と呼ばれる専門家が常駐。創業にあたっての事業計画策定、会社設立、補助金の活用、人脈形成の支援など、創業者のニーズを的確にくみ取ったワンストップ支援の体制を確立。最近では外国人の創業相談が増加。アジア圏と近接している福岡市の地理的優位性から、アジア進出の拠点として注目が高まっている。
		青森県福岡情報センター		福岡市では「天神ビッグバン」と称した一大プロジェクトを実施。国家戦略特区制度を活用し、建物の高さ規制を緩和することで天神地区の再開発を促す取り組みで、超高層ビルの建設が可能となり民間投資の活発化による大きな経済効果が期待されている。
3	2017. 11/10~11	フードメッセ in にいがた 2017	新潟市	国家戦略特区(農業特区)の新潟市を中心に、国内外から「食の魅力」を発信する国際見本市。地域食材の発掘を目指す新潟県内はもとより、首都圏・隣接エリア・海外まで多数の有力バイヤーが来場。ナショナルブランドには無いオリジナリティ溢れる食品・食材が、差別化のキープポイント。小ロットならではの地域性豊かな商品にチャンスがある。近年、地域食材に関心の高い首都圏の有力バイヤーが年々増加し注目を集めている。
		にいがた雪室ブランド事業 協同組合		新潟県では以前から雪室商品を取り扱う企業が存在しており、組織力を活かした雪室ブランドを展開するため組合を設立。同様の条件がそろった本県においても十分に活用できる事例である。
4	2017. 11/13~15	滋賀県中小企業団体中央会	大津市	滋賀県中央会が食品や工芸品など「滋賀の名品」を販売するインターネットサイトを平成29年2月21日に開設。ネットショップの運営ノウハウと課題の抽出にとどまらず、組合及び会員企業が有する特産品の販路拡大、新商品開発、流通など多岐にわたる支援を主体的に行っている。
		滋賀県菓子工業組合		滋賀県を体表する土産品に成長させるべく組合が一丸となり商品開発、販促活動に取り組む。特に組合青年部が中心となって発案するようにしており、組合活性化と次世代継承に向けた取り組みを推進している。
5	2017. 11/28~30	高知県食品外販協同組合	高知市	県内61社の食品メーカーが加盟する組合組織として平成22年に設立。県外(特に東京、大阪といった大都市)向けの販路を確保するため、営業、販促、帳合機能を担っている。組合が一つの企業のように製造業者と大手小売店との間に入り、双方の窓口として能力を発揮することで、参入機会の確保、双方の情報の集約・提供等を達成している。
		高知県酒造組合		組合のコンセプトであるTOSA NAKAMA SAKEは非常に明確であり、さらに「食中酒」というコンセプトが現在の「淡麗甘口」な酒造りと一線を画しており、差別化されている。コンセプトを確立するメリットは、買い手側への訴求もそうだが、売り手・作り手側のスタンスの再確認という面もある。
6	2018. 1/18~19	食の3重丸2018年度 方針発表会	東京都	独自に定めた厳しい審査基準をクリアした良質な製品を「食の3重丸 認定製品」として推奨し、社会に広めていく活動。アピール活動は公式WebやSNSが中心で、その他中日新聞や一部の口ハス雑誌等のみ公表。発信力向上の改善が進めば本県企業の活用もより期待が持てる。
		ブランド推進セミナー 講師選定		都内でスーパーマーケットを営む「福島屋」代表取締役会長の福島徹氏は、まさに「食のセレクトショップ」をコンセプトに差別化を図っており、全国から選りすぐった安心と信頼の逸品を並べ、美食家ならずとも、食に関心を持つ顧客ニーズにしっかりと応えている。この取り組みを学ぶべく平成30年2月13日に開催する「青森県地域ブランド推進セミナー」の基調講演講師に選定した。